

# 《最近の県内経済》 (2023年6月を中心として)

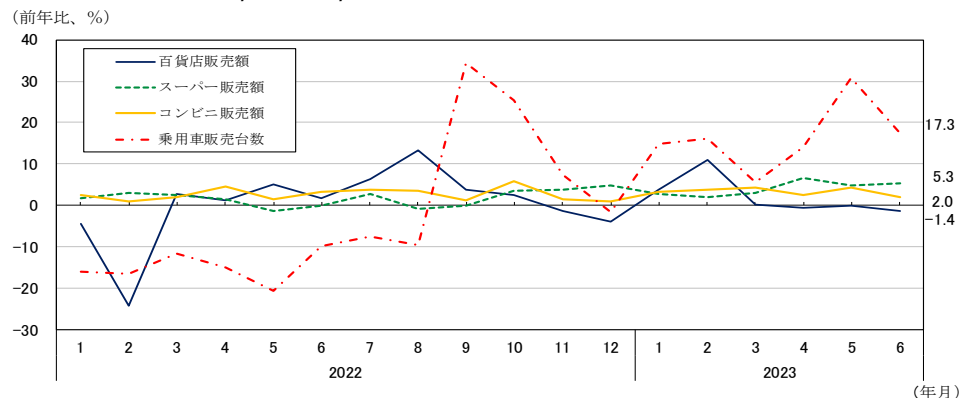
2023年8月28日

## 今月の概要

緩やかに持ち直している。

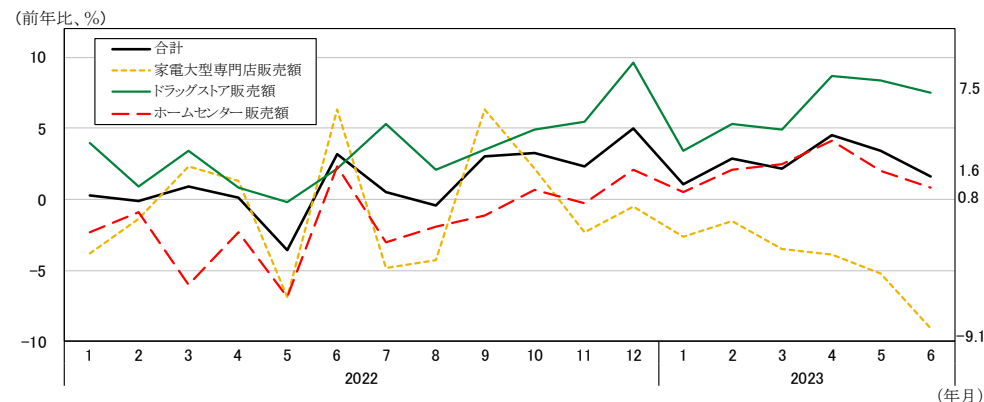
### 1 個人消費 ~持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直している。

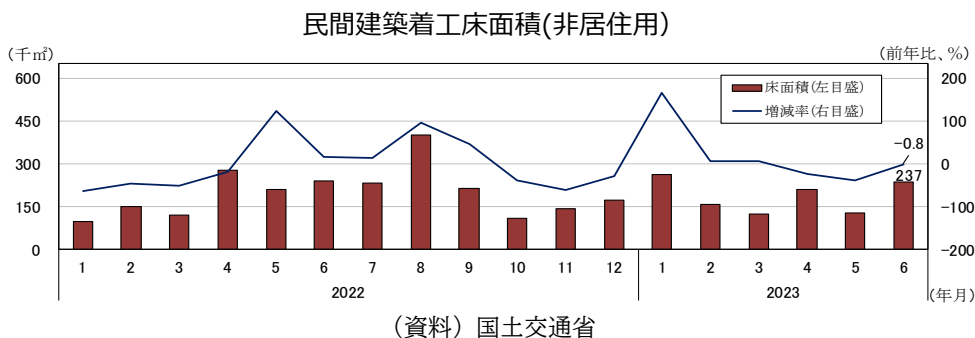
6月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が123億円で前年比1.4%減（2か月ぶりの減少）、スーパーは1,010億円で同5.3%増（9か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は559億円で同2.0%増と20か月連続の増加となった。気温の上昇や行楽・イベント需要の回復が牽引している。

また、乗用車販売は、前年比17.3%増と6か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同比41.3%増と6か月連続の増加、小型車が同比5.4%増と3か月連続の増加、軽乗用車が同比0.9%増と2か月連続の増加となった。

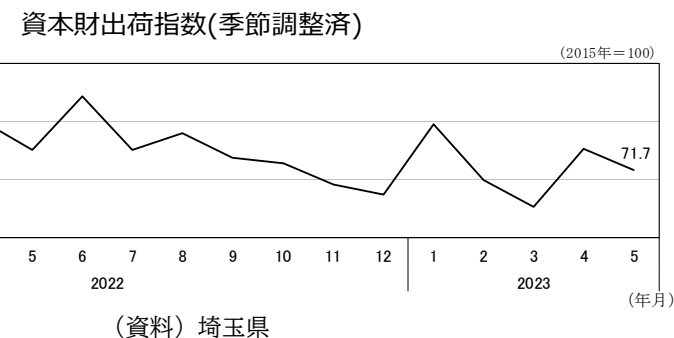
6月の専門量販店販売額は、774億円で前年比1.6%増と10か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が177億円で同9.1%減（8か月連続の減少）、ドラッグストアが414億円で同7.5%増（13か月連続の増加）、ホームセンターが183億円で同0.8%増（7か月連続の増加）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、5月〈37.2〉、6月〈37.7〉、7月〈38.2〉と改善している。

## 2 設備投資 ~持ち直している

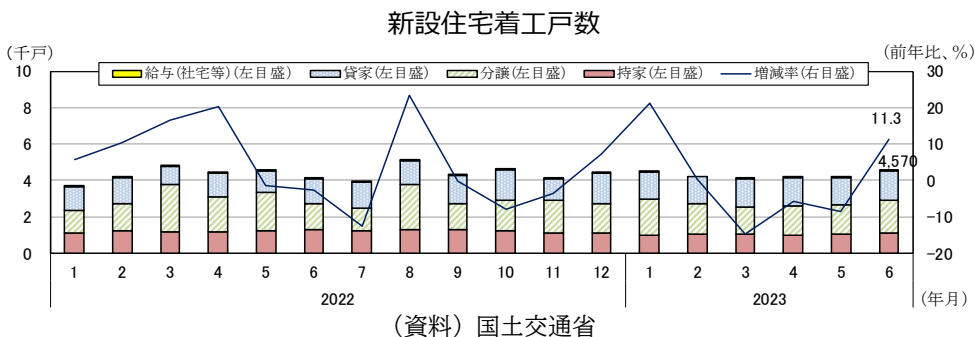


6月の民間建築着工床面積(非居住用)は、237千㎡で前年比0.8%減と3か月連続の減少となった。(5か月後方移動平均でも前年比14.1%減)用途別にみると、倉庫、学校は増加したものの、事務所、店舗、工場及び作業場、病院・診療所がいずれも減少した。



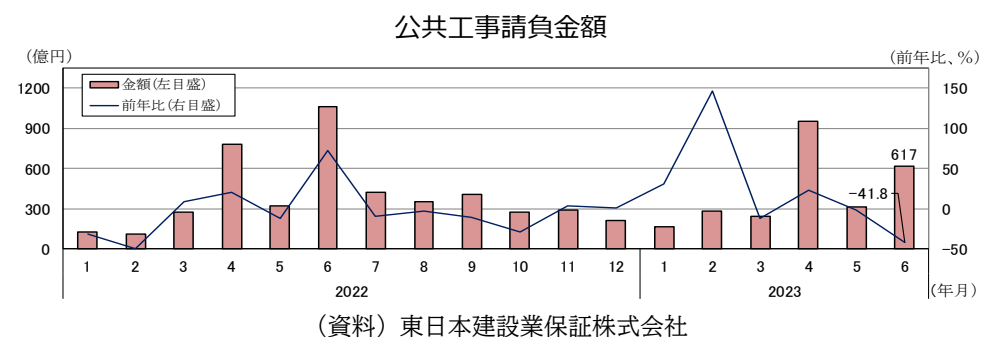
5月の資本財出荷指数(季節調整済)は71.7で、前月比4.8%減と2か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均では、前年比0.9%増)。

## 3 住宅建設 ~横ばいとなっている



6月の新設住宅着工戸数は、4,570戸で前年比11.3%増と4か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では3.8%減)。利用関係別にみると、持家(1,103戸)が同13.7%減、分譲戸建(1,207戸)が9.6%減となったものの、貸家(1,611戸)が同17.8%増、分譲マンション(623戸)が同456.3%増といずれも増加した。

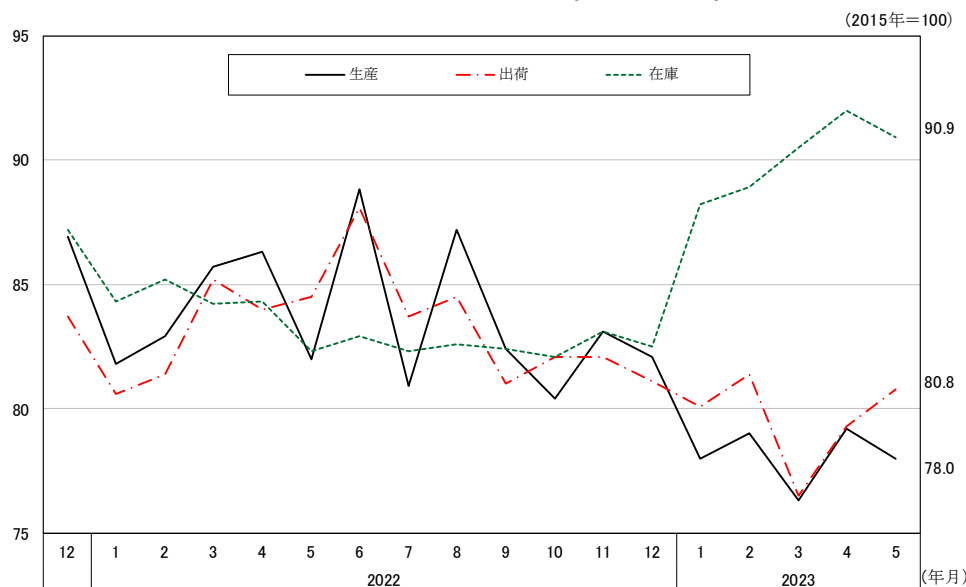
## 4 公共工事 ~横ばいとなっている



6月の公共工事請負額は617億円、前年比41.8%減となった(2か月連続の減少)。5か月後方移動平均でも前年比5.3%減で推移。発注者別で見ると、独立行政法人等は増加したものの、国、市区町村、地方公社はいずれも減少した。

## 5 生産活動～弱含んでいる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



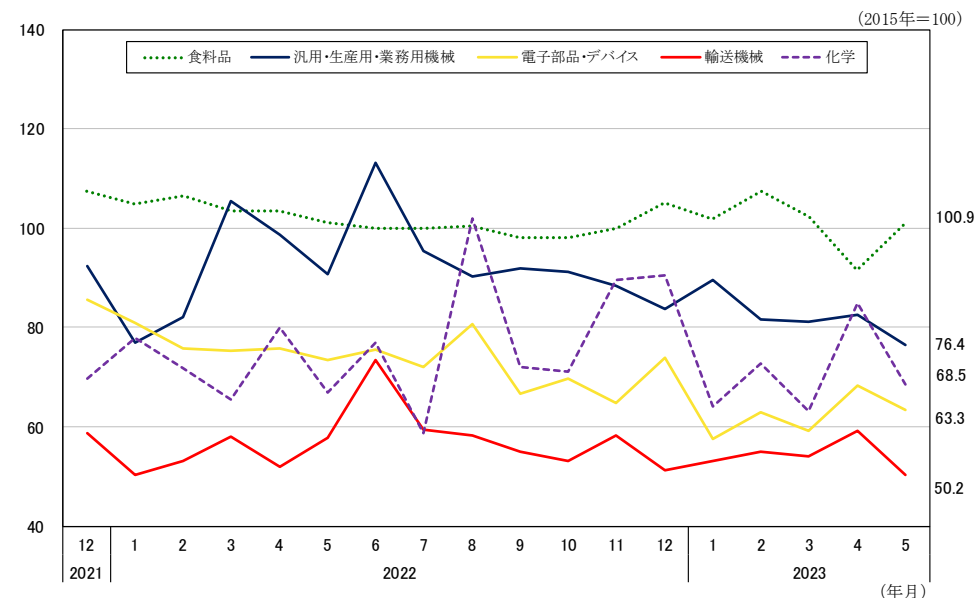
(資料) 埼玉県

5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、78.0で前月比1.5%低下した(2か月ぶりの低下)。食料品(炭酸飲料、チョコレート)プラスチック製品(プラスチック製容器、発泡プラスチック製品)などが上昇したが、化学(医薬品、印刷インキ)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが低下した。

出荷指数(同)は、80.8で同1.9%上昇(2か月連続の上昇)。輸送機械(自動車エンジン、乗用車)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下したが、食料品(炭酸飲料、チョコレート)、情報通信機械(ガス警報器、カーナビゲーション)などが上昇した。

在庫指数(同)は、90.9で同1.2%低下した(5か月ぶりの低下)。電気機械(食器洗い乾燥機、クッキングヒーター)、プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)などが上昇したが、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)、輸送機械(普通トラック、けん引車)などが低下した。

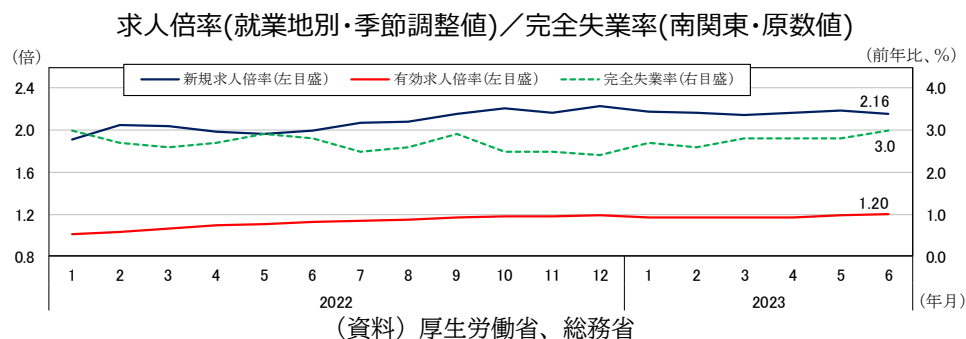
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、100.9で前月比10.2%上昇、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、76.4で同7.5%低下、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、63.3で同7.5%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、50.2で同15.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、68.5で同19.4%低下し、2か月ぶりの低下となった。

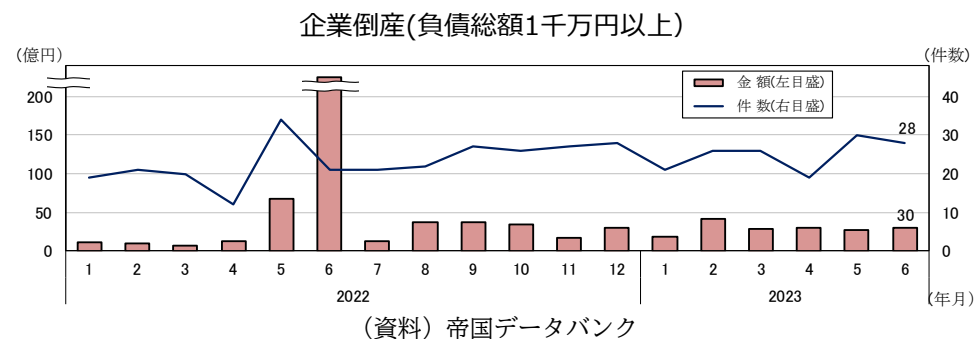
## 6 雇用情勢 ～穏やかに持ち直している



6月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.20倍で前月比0.01ポイント上昇した(2か月連続の上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.16倍で前月比0.03ポイント低下した(3か月ぶりの低下)。

完全失業率(南関東、原数値)は、3.0%で前年同月比0.2ポイント上昇した(前年同月比13か月ぶりの上昇)。

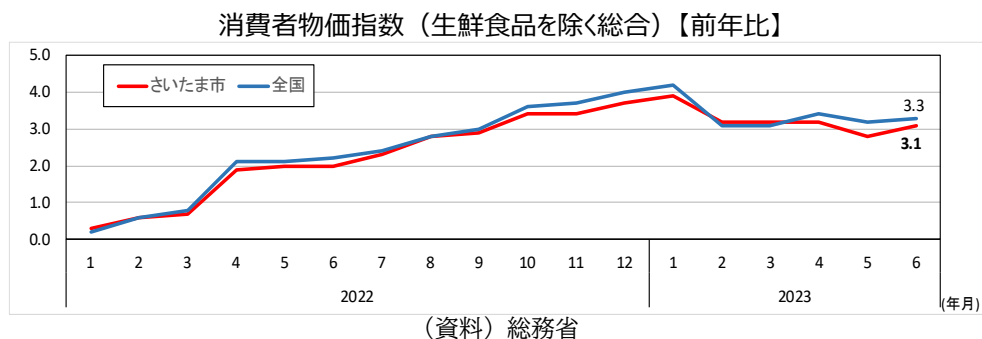
## 7 企業倒産 ～増加傾向にある



6月の企業倒産件数は、28件で前年同月比7件の増加となった。負債総額は30億円で同1兆1,865億円の減少(前年同月は、大型倒産が発生したため)となった。

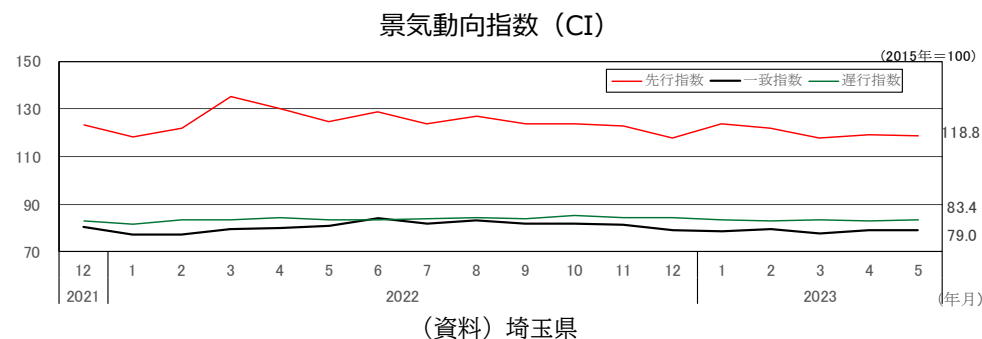
業種別にみると、建設業が最多で8件。次いで製造業が6件、サービス業が5件と続いている。主因別では、販売不振が23件となっている。

## 8 消費者物価 ～上昇率がやや鈍化している



6月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比3.1%上昇した。食料(肉類(輸入牛肉など)、乳卵類)、教養娯楽(主に旅行代金等)等の上昇が全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ～下方への局面変化を示している



- 5月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、79.0で前月比0.3ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、118.8で同0.3ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、83.4で同0.4ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。